

平成25年度進行管理・評価シート  
甘楽町歴史的風致維持向上計画（平成22年3月30日認定）  
（最終変更平成25年1月11日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 振興課振興室・企画課・教育課(文化財保護係)の連携	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 伝統的建造物群保存地区決定への説明会	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 小幡公園整備事業	3
2 町道整備事業(久保、下夕町線整備事業)	4
3 町道整備事業(楽山園周辺道路整備事業)	5
4 周遊拠点施設整備事業	6
5 雄川堰整備事業	7
6 有賀茶店保存修理事業	8
7 高質空間形成施設(照明施設等)整備事業	9
8 松浦氏屋敷保存・修理事業(旧小幡藩武家屋敷)	10
9 信州屋保存修理事業	11
10 案内板等整備事業	12
11 小幡ものがたり出版事業	13
12 地域コミュニティ組織づくり事業	14
13 趣と味わいのある建物指定制度	15
14 歴史まちづくり(歴史・文化・景観)講演会	16
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の調査・指定について	17
2 文化財の保存・防災	18
3 文化財の普及・啓発	19
4 重点区域における伝統的建造物群保存地区 の制度の導入に向けた取組み	20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 城下町に早い春 甘楽・小幡 ほか	21
⑥その他(様式1-6)	
1 地域ぐるみでの歴史的水路(雄川堰)の 保全・活用に関する調査	23
□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	24

評価軸①-1  
組織体制

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

振興課振興室・企画課・教育課(文化財保護係)の連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------------------	---

計画に記載している内容 全町をあげて町の歴史的風致の維持向上を推進するため振興室の充実を図り、甘楽町歴史的風致維持向上計画策定委員会(推進会議)により組織横断的な調整を行い庁内合意形成を図る。

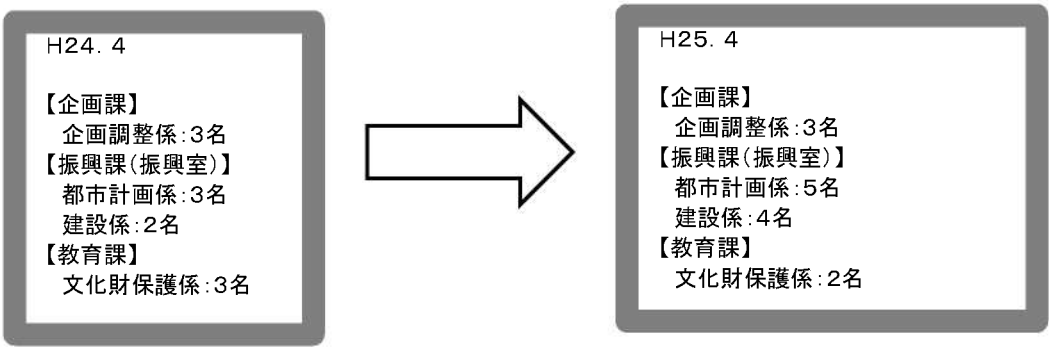
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

振興課振興室、企画課及び教育課からなる甘楽町歴史的風致維持向上計画策定委員会により事業の進捗管理・評価について協議し推進した。特に重点区域内で実施されている事業については、住民団体等と連携して甘楽町の歴史的風致の維持及び向上のための施策展開への理解協力に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし
--	----

状況を示す写真や資料等



甘楽町歴史的風致維持向上計画策定委員会の執行状況

- 第1回 平成25年4月1日  
主なテーマ 今年度の事業推進について
- 第2回 平成25年6月13日  
主なテーマ 楽山園周辺の景観向上について
- 第3回 平成25年10月17日  
主なテーマ 都市再生整備計画の変更について
- 第4回 平成25年11月25日  
主なテーマ 政策会議への来年度主要事業説明について
- 第5回 平成25年12月20日  
主なテーマ 歴まち計画の変更及び来年度予算について



甘楽町歴史的風致維持向上計画推進協議会の執行状況

- 第1回 平成26年3月20日  
主なテーマ 計画変更について

評価軸②-1  
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
----	--------	-----------------

伝統的建造物群保存地区決定への説明会について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------------	--	---

計画に記載している内容  
本町では、平成元年9月に「甘楽町ふるさと景観をまもり、そだて、つくる条例」を制定し、都市景観の形成につとめ平成22年9月には景観行政団体に移行し平成23年3月には景観法に基づく景観計画を策定した。また、伝統的建造物群保存地区の決定を目指している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  
景観法に基づいた景観条例、伝統的建造物群保存地区の指定に向けての説明会に取組む中で歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画の認定以降の効果(来訪者等の外部評価が高まったことなど)により住民の意識に変化が見られてきた。  
今年度は、石積みなどにみられる歴史的景観と現存する建造物が持つ価値への認識を深めてもらうことを目的に住民説明会を4回実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし

状況を示す写真や資料等

■住民(商工会役員等)に対する説明会開催状況  
平成25年8月7日



■住民(自治会)に対する説明会開催状況  
平成25年11月5日



評価軸③-1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
小幡公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～平成26年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 甘楽総合公園、遊歩道「せせらぎの道」と一体的に利用できる一級河川雄川沿いに区域面積0.6haの小幡公園を整備し、小幡地区散策の拠点及び来訪者との交流の場とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

小幡地区散策の拠点及び来訪者と地域住民との交流の場として機能し城下町小幡の景観や回遊性・利便性の向上に寄与している。平成25年度は総事業費89百万円により用地買収並びに便益施設・広場整備等の施設整備を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし
--	----

状況を示す写真や資料等

■小幡公園全景(南から北)



■小幡公園全景(北から南)

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
町道整備事業(久保、下夕町線整備事業)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～平成26年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	名勝楽山園、小幡公園及び周遊拠点施設を結ぶ町道の整備を図ることにより、小幡地区の周遊性の向上、散策の拠点としての機能向上が見込める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
小幡の中核を形成する名勝楽山園の北エリアにある小幡公園・周遊拠点施設を結ぶことにより小幡地区の周遊性の向上に寄与している。平成25年度は総事業費98百万円により延長L=264.7m幅員W=11.0mの町道が11月に竣工した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし		
状況を示す写真や資料等			
■町道久保下夕町線全景 			
			
■測点NO1付近		■終点付近	



評価軸③-3  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

町道整備事業(楽山園周辺道路整備事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------------	--	---

事業期間 平成25年度～平成26年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 楽山園及び御殿前通りの景観を阻害している電柱等の移設を行うことにより回遊性や利便性が高まり景観の向上が期待される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度は、移転補償費等29百万円により御殿前通り等の電柱類を移設し歴史性に配慮した照明施設を整備することにより著しく景観の向上が図られた。平成26年2月に事業は完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	一部区間(中小路)は今後継続して整備する必要がある。さらに、楽山園に隣接する甘楽町立第二中学校が、平成28年3月に廃校となるため周辺の景観整備を計画的に行うために事業期間を延長するため、計画を変更する必要がある。
--	--

状況を示す写真や資料等

■電柱移転整備前の状況(御殿前通り)



■電柱移転整備後の状況(御殿前通り)



評価軸③-4  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
周遊拠点施設整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～平成26年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 情報発信施設を整備することにより歴史的資源を繋ぐネットワークの向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

上信越道富岡ICからの玄関口である場所に周遊拠点を整備することにより、来訪者に対して町の歴史的風致、歴史的な建造物及び景観についての情報を伝える機能が高まり、町の歴史的風致への理解を深めることができる。平成25年度は、177百万円の事業費により来訪者への地域情報発信施設、地場産品展示販売施設及び来訪者と地域住民の交流スペースの整備を図り平成26年3月16日グランドオープン。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし
--	----

状況を示す写真や資料等

地場産品展示販売施設



地場産品展示販売施設



評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 平成25年度 現在の状況
雄川堰整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～平成31年度
支援事業名	農山漁村地域整備交付金(地域用水環境整備事業)
計画に記載している内容	町の歴史的風致の中核をなす雄川堰(大堰)の石積み改修を行うことにより、雄川堰の保存・活用を図る。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
平成25年度は、事業主体である群馬県農村整備課、住民団体(自治会)とともに石積の検証、補修箇所等の確認を行い地元説明会・ワークショップ等を通じて出された意見を基本計画へ反映を図った。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	住民の洗い場等の修繕に寄せる期待は大きく「今後も大切に使う」「信州屋前の洗い場で、来訪者に石積みの説明をしたい」など新たな交流への意欲が住民からワークショップ等で意見が寄せられているので反映していきたい。
状況を示す写真や資料等	
<p>■石積み補修箇所確認作業</p> 	
<p>■群馬県農村整備課との打合せ会議</p> 	



評価軸③-6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 平成25年度 現在の状況
有賀茶店保存修理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～平成26年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
計画に記載している内容	有賀茶店は町屋地区にある伝統的な建造物群である養蚕農家群のまちなみの中にあり当該地区の歴史を知り上で極めて重要な資源である。所有者から借り受け一般公開を図り養蚕農家群の充実を図ることができる。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
平成25年度に総事業費24百万円により保存・修理を行い、商家であり養蚕農家である有賀茶店を3月に一般公開することにより養蚕農家群の充実が図られた。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	本事業へ寄せる住民からの期待が大きく、同時期に建設され現在は地域の祭礼の道具などを収納している下町組合事務所などへの保存修理の要望も出されている。
状況を示す写真や資料等	
<p>■有賀茶店整備前</p> 	
<p>■有賀茶店整備後</p> 	

評価軸③-7 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
高質空間形成施設(照明施設等)整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成31年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	雄川堰とともに歴史的建造物が数多く保存されている町屋地区は、「小幡八幡宮例大祭」の舞台となる。町道上町東側・下町東側線等の景観を阻害している電柱や電線類等の地中化を推進するとともに町道・雄川堰(大堰)の照明整備を行い、往来する人々の回遊性及び景観の向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度において群馬県により雄川堰沿いの県道敷側に照明施設を設置し雄川堰のライトアップ等により景観の向上に寄与している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし		
状況を示す写真や資料等			
<p>■県による照明施設の整備</p> 			
<p>■県による照明施設の整備(夜間)</p> 			

評価軸③-8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 平成25年度 現在の状況
松浦氏屋敷保存・修理事業(旧小幡藩武家屋敷)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～平成26年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
計画に記載している内容	武家屋敷地区にある松浦家は、武家の屋敷構えを良好に残し雄川堰の地割と一体となっている。江戸時代の武士の生活環境と当該地域の歴史を知る上で極めて重要な資源である。所有者の理解を得て一般公開しており、保存修理及び耐震改修を行うことで、武家屋敷群の充実化が図られるとともに見学を目的とした来訪者の増加が期待できる。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
平成25年度においては、有識者等からなる整備検討委員会(平成25年4月1日)が発足し保存・改修の基本方針が決定された。それに伴い総事業費8百万円により主屋実測調査、主屋現状図化、主屋痕跡調査及び庭園調査を行った。また、庭園についても江戸時代に建てられた旧主屋とともにつくられたものであることが判明した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	資料調査からは、池が縮小された可能性と、その時期については明治時代以降と戦後の2段階あることが判った。発掘調査による池底粘土層の分布確認等が必要なことから事業期間を延長するため計画変更を行う。 状況を示す写真や資料等
<p>■ 調査を実施した松浦氏屋敷と庭園</p> 	
<p>■ 松浦氏屋敷整備委員会</p> 	

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
信州屋保存修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成25年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	町屋地区の伝統的な建築物の1つとして、養蚕農家群の町並みの中にあり当該地域の歴史を知る上で極めて重要な資源である。保存修理を行うことで養蚕農家群の充実が図られる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年3月21日より一般公開を開始し来訪者と地域住民との交流の場となっている。また、地域住民の集会や町の研修等でも利用し多くの人に利用され歴史的風致の啓発に役立っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし		
状況を示す写真や資料等			
<p>■広報モニター研修(平成25年9月26日)</p> 			
<p>■信長サミット(平成25年4月13日)</p> 			



評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 平成25年度 現在の状況
案内板等整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～平成26年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
計画に記載している内容	歴史的建造物の周辺等、重点区域の主要な地点に案内板や情報板を設置することにより、住民や来訪者が建造物への理解を深めた。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
平成25年度は案内板及び情報板の整備により多くの人が甘楽町の歴史的風致に対する認識を深めた。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後の課題として急速に整備を進めたため平成21年度に整備した案内板等に反映されていない公共施設等が多くなり更新する必要がある。
状況を示す写真や資料等	
<p>■歴史的風致形成建造物情報板(信州屋)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
<p>■歴史的風致形成建造物案内板(喰い違い郭)</p> 	

評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 平成25年度 現在の状況
小幡ものがたり出版事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成22年度～平成31年度
支援事業名	町単独事業
計画に記載している内容	小幡の歴史、文化、人物由来等について定期的に小冊子を発行する。当初は、広報紙などに定期的に掲載し貴重な小幡の文化を後世に継承するとともに町の歴史、文化等を杯観客に発信し歴史的風致の啓発を図る。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
町のメルマガ等に隔号で学芸員が情報を掲載し、小幡の文化財について、12回情報発信した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後は住民ボランティアと連携し、小幡を含め町全域の文化財の情報発信を行うため本年度で事業を完了する。
状況を示す写真や資料等	
<p>■崇福寺の聖観音坐像(町指定文化財)</p> 	
<p>■織田氏家臣録(町指定文化財)</p> 	

評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
項目	評価対象年度 平成25年度 現在の状況
地域コミュニティ組織づくり事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成23年度～平成26年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業の効果促進事業)
計画に記載している内容	小幡地区において、行事やイベントなどの実行委員会を組織する中核的なコミュニティ組織を育成、向上のためにWS等を開催していく。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
地域の住民の参加による、歴史や景観を考えるワークショップ等を開催した。 4団体を対象に8日間(平成25年6月8日、8月6日～7日、9月10日～11日、11月7日～8日、平成26年3月6日)、計9回開催。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし
状況を示す写真や資料等	
<p>■地域コミュニティワークショップ(商工会女性部) 平成25年9月11日 参加者24人</p> 	
<p>■地域コミュニティワークショップ(商工会青年部) 平成25年8月6日 参加者15人</p> 	

評価軸③-12  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成25年度 現在の状況
趣と味わいのある建物指定制度			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成22年度～平成31年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	文化財の指定を受けていない古い建物を「趣と味わいのある建物」として指定し、住民等に情報発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度は、ワークショップ等を通して町の中に埋もれている古い建物について検討を行った。(平成25年8月6日、9月10日の2回開催)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域に埋もれた趣と味わいのある建物を指定し、地域の財産として保存を図るという本事業の趣旨は、町指定の文化財の普及・啓発、歴史的風致形成建造物指定制度等と重複してしまい住民にとってわかりにくい側面もあり、発展的な解消を図るため今年度で事業を完了することとする。		
状況を示す写真や資料等			

■資源発掘のためのワークショップ  
平成25年9月10日



■資源発掘のための現地調査  
平成25年8月6日





評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成25年度 現在の状況
歴史まちづくり(歴史・文化・景観)講習会			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成22年度～平成26年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業の効果促進事業)		
計画に記載している内容	町の文化財及び歴史等について講習会を開催し住民の啓発に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
講演会等の開催により住民の歴史・景観・文化財等に関する意識が高まり良好な景観形成に寄与している。平成25年度はまちづくりアドバイザー(大下茂先生)によるワークショップ及びシンポジウムなどを通して歴史的な景観を活かしたまちづくりの推進について啓発した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	町の資産である歴史的風致、歴史的な建造物及び景観などについて、更に多くの人々に認識してもらうため、事業期間を延伸する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			



まちづくりワークショップ  
平成25年8月7日



「歴史都市甘楽町まちづくりシンポジウム」  
平成25年8月10日

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
文化財の調査・指定について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	未指定の文化財については、分野別に調査・研究を行って実態の把握に努めるとともに、調査・研究によって得られた知見に基づいた価値づけを行い、町指定の文化財として指定する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財の調査・指定について文化財調査員や文化財ボランティアと協力して、定期的に地域の文化財を巡視し未指定文化財の調査や指定に向けての調査を進めているとともに所有者等の要請に基づき文化財の保存状況の確認や文化財調査委員による指導を行った。また、『織田信雄書状』(平成25年2月25日町文化財指定)が今年度一般公開された。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		なし	
状況を示す写真や資料等			
		町指定重要文化財 「大日堂の石仏」 平成25年6月15日  町文化財調査委員による指定文化財 管理保存状況現地調査	
町指定重要文化財 「建長の板碑」 平成26年1月17日  町文化財調査委員による保存管理のための現地指導			
		今年度一般公開された町重要文化財「織田信雄(自筆)書状」	

評価軸④-2  
文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

文化財の保存・防災	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------	---

計画に記載している内容  
文化財は、当町の歴史や文化を正しく理解するために必要なものであるとともに、地域の歴史や文化を発信するための貴重な資源である。このため、文化財を適切に保存しつつ、活用を図ることは重要なことであるため、積極的に推進する。  
甘楽町防災計画や総合計画を基本に、防災体制を整えるものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

消防団による文化財周辺の水利確認や消火訓練を通して防災に努めると共に、有事の際に備えている。また、文化財近隣の自治会住民による消防援助隊も組織されており、地域全体で文化財を保存していく活動を行った。  
その他、町では毎年1月26日の文化財防火デーに合わせて、文化財に関わる職員の防火訓練を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
	なし

状況を示す写真や資料等



名勝楽山園にて  
有事に備え消火訓練を行う  
近隣住民(消防援助隊)  
平成25年12月17日



消火器具の使用方法講習を  
受ける近隣住民(消防援助隊)  
平成26年1月30日



評価軸④-3  
文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

文化財の普及・啓発	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
-----------	---	--

計画に記載している内容  
 現在、ほとんどの指定文化財には、広く文化財に対する理解を得るため説明板を設置している。また、『甘楽町の文化財』などの啓発的な冊子を頒布して住民への周知を図っている。一般公開されていない指定文化財は、所有者と協議し、期間限定で公開するなどの従来行っていなかった方法を模索し活用を進めている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域の財産である文化財を住民とともに守り継承するため住民ボランティアを募集し、研修を通じて啓発に努めている。また、町指定文化財に理解を深めてもらうため名称楽山園の夜間特別公開を実施。また、11月3日に民俗芸能大会を開催し、古くから伝承されている重要無形民俗文化財の発表の場を設けた(毎年開催)。なお、文化財の活用については、文化財ボランティア組織等と協力し文化財の一般公開を進めるとともに催事等においてもその舞台として積極的な利活用を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし
--	----

状況を示す写真や資料等



理解を深めるため夜間特別公開された名勝楽山園 月見会  
 平成25年9月19日 入場者数366人



甘楽町指定重要無形文化財  
 白倉神社の太々神楽  
 平成25年11月3日 入場者約1,200人



町職員による観光ボランティアのための現地講習会  
 (歴史民俗資料館)  
 平成25年11月20日



評価軸④-4  
文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

重点区域における伝統的建造物群保存地区制度の導入に向けた取り組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------------------------------	--	---

計画に記載している内容  
小幡地区の伝統的建造物群保存地区については、早急に伝統的建造物群調査を行い、作成される保存計画に基づき、各種事業を導入し、計画的に保存を進めるものとする。同時に町独自の補助制度等を制定し、必要な支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度は、調査実施からの時間の経過も考慮し、まち並み、建物の現地調査を行い、有識者による指導をいただいた。

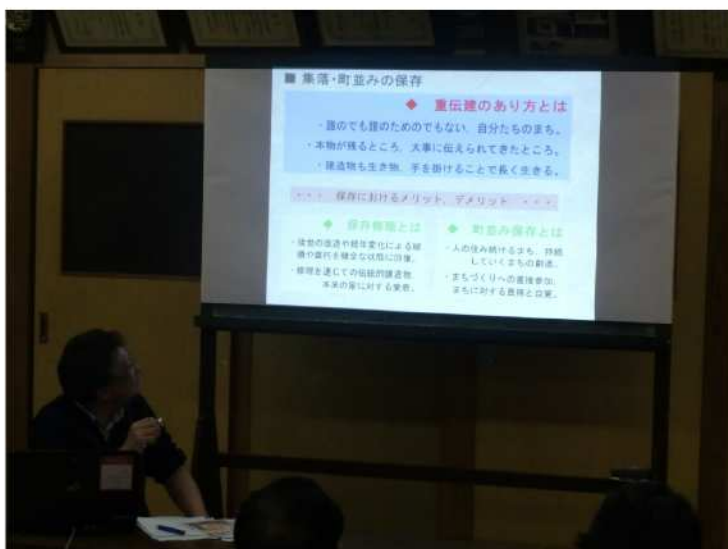
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	なし
--	----

状況を示す写真や資料等



まち並み、建物現地調査  
平成25年6月7日



住民説明会  
(プロジェクターを利用した説明会)  
平成25年11月29日

評価軸⑤-1  
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
城下町に早い春 甘楽・小幡	H25.4.1	上毛新聞
甘楽 雄川堰の魅力発見 来月10日にシンポ	H25.7.27	上毛新聞
城下町支えた石積みに感心 甘楽・雄川堰見学会	H25.8.11	上毛新聞
歴史遺産生かそう 甘楽 魅力向上へシンポ	H25.8.11	上毛新聞
松浦氏屋敷を復元 旧小幡藩武家屋敷 15年度に一般公開	H25.9.23	上毛新聞
歴史息づく街並みに 甘楽で関東自治体 文化財や景観保護探る	H25.11.12	上毛新聞
甘楽で試食会 3種ソースでやきもち、ピザ 地元小麦で新名物	H25.12.10	上毛新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の保存と活用、歴史まちづくり事業のアナウンスに関しては、報道による周知が効果的であるため積極的に情報発信している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	積極的に情報発信したことにより、報道等で取り上げられ歴史的風致に興味を持つ来訪者が増えた。今後は、観光案内ボランティア等の資質の向上を図る必要がある。研修会等を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等

平成25年4月1日 上毛新聞

平成25年7月27日 上毛新聞

平成25年8月11日 上毛新聞

平成25年8月11日 上毛新聞



「雄川堰の魅力と価値を探る」をテーマに意見が交わされた  
パネルディスカッション



## 甘楽 魅力向上へシンポ

# 歴史遺産 生かそう

織田氏が統治した小幡藩の歴史遺産を生かしたまちづくりの可能性を考える「歴史都市・甘楽町まちづくりシンポジウム」(町主催、上毛新聞社共催)が10日、町文化会館で開かれた。講演やパネルディスカッションを通して400年以上使われている石積み用水路「雄川堰」をはじめ、城下町小幡の歴史的景観を未来に残し、町の魅力向上につなげる方策を探った。

織田氏による都市計画の名残として歴史的、土木工学的にも優れた雄川堰に光を当て、小幡の町屋地区における国の重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)の選定に向けた機運を高めることが目的。

講演では国土交通省都市局公園緑地・景観課長補佐の森口俊彦氏が歴史まちづくりの事例を紹介。雄川堰の映像作品を上映した。

後、芥川賞作家の糸山秋子さんが「甘楽の美意識」と題してトークショーを行った。初めて訪れた時の印象として、武家文化のほかに清潔感を挙げ、「良い町にしたい」と思っただけの手が冴える、何十年もかかるとは思わなかった、と甘楽で育ちながら、甘楽で暮らしていることへの思いを述べた。

片品村長 高橋村議が出馬へ  
現新一騎打ちの公算

任期満了に伴って片品村長選挙(10月22日告示、27日投票)で、同村議で前議長の高橋正治氏(69)が公算を述べた。

「甘楽の美意識」と題してトークショーを行った。初めて訪れた時の印象として、武家文化のほかに清潔感を挙げ、「良い町にしたい」と思っただけの手が冴える、何十年もかかるとは思わなかった、と甘楽で育ちながら、甘楽で暮らしていることへの思いを述べた。

平成25年8月11日 上毛新聞

## 甘楽町 松浦氏屋敷を復元

### 旧小幡藩 武家屋敷 15年度に一般公開

甘楽町は、旧小幡藩の武家屋敷と庶民の復元整備を推進する。現在、外見を復元し、内部を一般公開する。平成25年度(2013年度)には建物全体の一般公開を目指す。県内でも少ない江戸時代の武家屋敷を復元し、徒歩圏内にある大蔵園(梁山園)や小幡城下町とともに歴史観光の新たな拠点としてアピールする。

町振興課によると、武家屋敷の復元整備に取り組みは初めて。有識者による第一回整備検討会を10月に開催し、本年度中に調査と実施設計を行う。資料や現地の痕跡を調査して歴史的背景を整理し、江戸時代の姿への復元を目指す。建物内を見学できるように整備する。

松浦氏屋敷は、梁山園から約300m南西にある。小幡藩の中老を務めた松浦氏の住宅と見られ、建造は18世紀末から19世紀初頭と

平成25年9月23日 上毛新聞

## 歴史息づく街並みに

### 甘楽 文化財や景観保護探る

歴史的街並みを活用したまちづくりを考える「歴史都市・甘楽町まちづくりシンポジウム」(町主催、上毛新聞社共催)が10日、町文化会館で開かれた。講演やパネルディスカッションを通して400年以上使われている石積み用水路「雄川堰」をはじめ、城下町小幡の歴史的景観を未来に残し、町の魅力向上につなげる方策を探った。

「市長の意識が向上した。神奈川、山梨、群馬、栃木、茨城、千葉、埼玉、東京、福島の各自治体で、国の認定を受け、市民の要望をかなえられた。『埼玉県川越市』という街が上った。『自治体関係者が国指定を請う。梁山園や小幡城下町を巡り、歴史的建造物や景観の整備の現状を視察した。』

「市長の意識が向上した。神奈川、山梨、群馬、栃木、茨城、千葉、埼玉、東京、福島の各自治体で、国の認定を受け、市民の要望をかなえられた。『埼玉県川越市』という街が上った。『自治体関係者が国指定を請う。梁山園や小幡城下町を巡り、歴史的建造物や景観の整備の現状を視察した。』

平成25年11月12日 上毛新聞

## 甘楽で試食会

### 地元小麦で新名物

甘楽町で地元産小麦を使った新名物を試食する試食会が開かれた。試食会では、甘楽町産小麦を使った新名物を試食する。試食会では、甘楽町産小麦を使った新名物を試食する。試食会では、甘楽町産小麦を使った新名物を試食する。

平成25年12月10日 上毛新聞

評価軸⑥-1  
その他

評価対象年度 平成25年度

項目

地域ぐるみでの歴史的水路(雄川堰)の保全・活用に関する調査

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

陣屋内の武家屋敷地区に網の目のように張り巡らされている「小堰」は、建設から400年を経た今も漏水がなく豊かな水が流れており、技術的にも価値の高い歴史文化遺産であるが、大堰に比べるとその認知度が低い。そのため今年度の国土交通省の「歴史的風致維持向上推進等調査」の助成を受け、小堰の保存・活用にあたっての方策を検討し、石積みの補修技術を復活させる等、今後も小堰を住民皆で守り育てていけるよう取組みを行った。「歴史的風致維持向上推進等調査」により町の指定文化財である小堰について検証が進み、来年度以降に実施する事業の雄川堰整備における石積等の構造について明らかとなった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり  
□計画の進捗に影響なし

今後も継続的に取り組む必要を感じている。調査の成果によってもたらされた石積みの構造を標準化する必要がある。

状況を示す写真や資料等



水路現地調査  
平成25年7月12日



水路石積み補修作業  
平成25年8月22日



法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成25年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 甘楽町歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 平成26年3月20日	
(コメントの概要)	
<p>・重点区域における歴史的風致維持向上のための整備(電柱等の移設、歴史的風致形成建造物整備など)は、順調に進捗している状況にある。また、庁内における文化財部局とまちづくり部局との連携を強化した「甘楽町歴史的風致維持向上計画策定委員会」の定期的な開催により、各事業の相乗効果が生まれてきつつある。特に、地域住民の事業への理解・参画は不可欠な力となることから、啓発事業・協力依頼の機会づくりについての継続した取組みが求められる。</p> <p>・来訪者に甘楽町の歴史的な風致に触れてもらうための施策として、重点区域を周遊する整備も進められ、甘楽の歴史的な環境に関心をもつ来訪者に対する理解の向上等の成果も次第に出てきていると見受けられる。また、近隣地域においては新たな話題性のある取組みが進んでいること(世界遺産)から、今後も良好な景観形成に資する施策や地域との連携により、一時のブーム的な来訪に偏重することなく、より多くの人々に町の歴史的風致を認識し関心をもってもらえるよう努めてもらいたい。</p> <p>・文化財や地域で引き継がれる行事などの掘り起しとその普及・啓発に努めるとともに、地域住民の力とも方向性を合わせて、これらを保存、活用しながら新たな施策に取り入れられるよう展開してほしい。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>今後も庁内関係部局との連携を強化するとともに、地域住民の理解と参画を促すため、歴史まちづくり講習会の継続開催や歴史的風致、文化財等に関する情報発信、啓発事業に努める。また、歴史的風致の維持向上に向け、それら資産の保存、活用についての協議を重ね新たな施策への展開を図る。</p>	